第11回 JAPAN BUILD TOKYOに出展

2026 年 11 月 18 日

三菱ふそうトラック・バス株式会社（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長・CEO：フランツィスカ・クスマノ、以下 MFTBC）は、2026年12月2日（水）から4日（金）まで東京ビッグサイトで開催される、「第11回 JAPAN BUILD TOKYO － 建築・土木・不動産の先端技術展 －」に出展します。

■出展コンセプト：「十人十色のビジネスに。みんなのトラック、新型キャンター。」

小型トラック「キャンター」は、業種・業態・地域を問わず、幅広いお客さまにご利用いただいています。多様化する働き方や事業環境の中で、お客さま一人ひとりのビジネスにさらに貢献したいという想いを込め、「十人十色のビジネスに。」をキャッチコピーに掲げています。ブースでは、総合建設会社（ゼネコン）や設備工事会社（サブコン）をはじめとする建設関連事業者向け、住宅メーカー、工務店などの関係者に向けて、車両展示、パネル展示を通じて建築現場での「キャンター」の活用方法を紹介します。また、EV という選択肢として、新型「eCanter」も提案します。

■主な展示・施策内容

1. **現場をイメージした新型「キャンター」の車両展示**

   新型「キャンター」に木材や足場材を積載し、建築現場での使用をイメージできる形で展示します。また、キャンターの特長から、現場のニーズに合った情報もパネルを通して紹介します。



小型トラック「キャンター」平ボデー

2. **次世代の選択肢として、新型電気小型トラック「eCanter」の紹介**

   新たにクレーン専用シャシを設定した新型「eCanter」を通じ、建設現場での新たな EV 活用を提案します。
   今回は、株式会社タダノと連携し、タダノ製 EVOLT 電動カーゴクレーンを搭載した新型「eCanter」を展示し、ご興味をお持ちいただいたお客様にはクレーンの動きを実感していただける対応もいたします。

   また、建築現場や都市配送におけるカーボンニュートラルの実現に向け、電気小型トラック「eCanter」の導入メリットや実績をパネルで紹介します。



新型電気小型トラック「eCanter」（タダノ製 EVOLT 電動カーゴクレーン）

3. **来場者参加型コンテンツ**
   ブース来場者には、キャンターの携帯クリーナーをプレゼントするほか、アンケート回答者を対象に、オリジナル FUSO グッズが当たる「巨大ガチャ」に挑戦できる企画を用意します。

■開催概要

- **会期**：2026年12月2日（水）～4日（金） 10:00～17:00
- **会場**：東京ビッグサイト（西・南展示棟）
- **MFTBC ブース**：西展示棟「第11回 建材・設備 EXPO」内
- **主催**：RX Japan 合同会社
- **公式サイト**：https://www.japan-build.jp/tokyo/ja-jp.html

MFTBC は、本展示会を通じて、建設業界のお客様との接点を強化し、新型「キャンター」及び新型「eCanter」が提供する「安全性」「快適性」「環境性能」の価値を提案してまいります。

三菱ふそうトラック・バス株式会社について

三菱ふそうトラック・バス株式会社（MFTBC）は、ARCHION グループを構成する企業として、商用車を開発・製造し、世界約170の国と地域へ製品とサービスを提供しています。日本とポルトガルの生産拠点を軸に幅広いラインアップを展開し、商用車の電動化や安全技術の開発に取り組んでいます。MFTBC は ARCHION とともに持続可能なモビリティに貢献していきます。

電気小型トラック「eCanter」について

「eCanter」は、 MFTBC が2017年に発売した日本初の量産型電気小型トラック（バッテリーEV トラック）です。温室効果ガスを排出せず、CO_2削減という社会課題の解決に貢献しつつ、静穏かつ低振動という EV トラックの特性により、都市内輸送・深夜早朝の輸送をより快適・低負荷で行えます。2023年3月にフルモデルチェンジして発売した新型モデルは、シャシラインアップや架装バリエーションの拡大、ニーズに合わせた航続距離の展開によって、さらに多様なニーズへの対応が可能です。日本のほか欧州31市場やオセアニア地域に加え、インドネシアや台湾といったアジア地域および中東・南米など、海外市場への新たな展開も進めています。